平成29年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	都市建築計画特論B（City & Architectural planning B ）			授業コード	M004401
担当教員名	廣田　篤彦			科目ナンバリングコード	R20206
配当学年	1	開講期	後期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	建築士試験の、大学院における実務経験認定に係る意匠系のインターンシップ関連科目です。				
受講心得	講義は、映像や配布プリントを中心に説明します。資料は、演習や課題制作の際に必要となるので、毎回必ずファイリングしておくようにしましょう。				
教科書	なし				
参考文献及び指定図書	既往研究、学会資料ほか				
関連科目	都市建築計画特論A（City & Architectural planning A ）				

授業の目的	GISの基礎を理解し、都市建築分野での分析例と手法について学習する。
授業の概要	GIS（Geographical Information System）とは地理情報システムのことであり、位置に関するデジタル情報を持った地理的事象（地図データ）を視覚的に表現し、分析や検索、シュミレーション、管理などを行う技術の総称である。今日、GISは国のIT基本戦略に位置付けられ、都市工学や環境学、造園学、農学、マーケティングなど、多方面でこの技術が応用されてきており、各種官公庁や民間企業など、積極的な取り組みが進んでいる。 本講座では、GISの最も代表的ソフトウエアであるESRI社のArcGISを例として、GISの基礎および基本操作を習得するとともに、都市・建築に関わる分析・研究への応用例とその手法について、演習を交えながら学習する。

○授業計画	
学修内容	学修課題（予習・復習）
第 1 週 ： GIS入門	
第 2 週 ： ArcGISとは	
第 3 週 ： データの表示と作成	
第 4 週 ： ArcViewの基本操作	
第 5 週 ： デーブル操作とアドレスマッチング	
第 6 週 ： shapeファイルの作成	
第 7 週 ： データ編集	

第 8 週 ： 空間解析 ８－１　バッファ解析 ８－２　ディゾルブ ８－３　クリップ	
第 9 週 ： 経年変化による土地利用変容の分析	
第10週： ジオリファレンス	
第11週： アジャスト	
第12週： ラスタ解析（1）気象データ、標高データの補間	
第13週： ラスタ解析（2）商業施設の出店計画、防災計画	
第14週： ダウンロードデータの利用	
第15週： 3Dアナリスト	
第16週：	

授業の運営方法	（1）授業の形式	「講義形式」
	（2）複数担当の場合の方式	
	（3）アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	都市・建築及び環境・社会について関心を持つこと
【知識・理解】	演習を通して知識・理解を深める
【技能・表現・コミュニケーション】	ソフトウエアの操作方法、及び課題解決のための活用方法を修得する
【思考・判断・創造】	都市・建築に関わる社会での課題を理解し、それに対する対応を考える

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	

【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。			**20点**
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。			**50点**
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。			**20点**

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	**評価の実施方法と達成水準の目安**
レポート・作品等（提出物）	
発表・その他（無形成果）	演習の成果を以って評価とします。